



若狭湾を望む舞鶴ふるるファーム

地域活性化拠点

地域の農家が運営するプチ農業テーマパーク

あったか、ほっこり農園 舞鶴ふるるファーム（京都府舞鶴市）

■ 経緯・実現のプロセス・ 整備の目的

舞鶴市は、京都府の北端に位置する人口約9万人の都市である。「あったか、ほっこり農園 舞鶴ふるるファーム」（以下、ふるるファーム）は、JR東舞鶴駅から車で約20分。山に囲まれ、若狭湾の素晴らしい景色が望める農業公園である。ふるるファームが位置する瀬崎地区は中山間地で起伏が多く、平地が少ない。そのうえ、高齢化の進行などにより、地域の活性化が求められていた。

そのような折、地区内に石炭火力発電所が建設されることになり、これに伴って、集落内の農地が減少することとなった。このため、市は、地域の農業を活性化するため、農業と触れ合える施設を整備する方向で地

元住民との協議を進め、平成15年7月に農業公園基本計画を策定した。この計画づくりに際しては、観光型農業をテーマに取り組みを進めるモクモクファーム（三重県伊賀市。66、67ページ参照）の運営主体からアドバイスを得たとのことである。こうして平成18年7月に公設民営の農業公園「ふるるファーム」がオープンした。

施設整備の目的は、主に次の2点である。第一に、団塊世代のリタイア層の増加による「田舎生活ニーズ」への対応として、半定住、定住希望者を受け入れ、都市農村交流の活性化を図ること。第二に、近年の食の安心・安全への関心の高まりを受け、地元産の安全な食材を提供し、地元で消費してもらおうという「地産地消」の推進とこれによる農業の活性化である。



■ 施設の概要・特徴

ふるるファームは、全体面積が約3.8ha（うち平地部分は約2ha）で、農村レストラン、ファーマーズマーケット、加工体験工房、クラインガルテン、体験農園、宿泊施設が、良好な景観をつくりながら配置されており、訪れた人々がさまざまな形で農業と触れ合え、楽しめるようになっている。

施設のPRについては、観光パンフ



上/クラインガルテン 下/ファーマーズマーケット

レットおよびホームページによる情報提供を行っており、バイキング形式の農村レストランや多様な体験メニューが用意された加工体験工房をはじめ、各施設ともにぎわいを見せている。市によれば、京阪神エリアからの住民を中心に、年間に延べ約9万人の利用者が訪れている。

特に、海が望めるクラインガルテンは施設のグレードも高く、利用者が思い思いの形で菜園を耕すなど、ゆったりとした環境の下で「田舎暮らし」を享受しているのがうかがえる。今では、定員とほぼ同数の人たちが空きを待っている状況である。ちなみに、クラインガルテンのエリアでは利用者たちにより自治会が組織され、独自の運営がなされている。

この施設の特徴としては、整備は舞鶴市が行い、運営は市から指定管理者としての委託を受けて「株式会社

農業法人ふるる」が担っているという公設民営タイプであることである。この農業法人ふるるは、地域内の全農家と地元企業が出資して設立した法人であり、地元住民参画による運営という点でも興味深い。具体の運営費用は各施設からの営業収入を充てている。開設後の農村レストラン、

ファーマーズマーケット、加工体験工房での売上げ額は、年間約1億円を確保（これが運営主体の収益等となる）しているとのこと。また、本施設は地元を中心に働く場を提供しており、現在では正社員6人（社長は元JA職員）、パート従業員24人の計30人が働いている。

販売施設では施設内の農場で採れた作物のほか、地元農家が栽培した農作物や地元の海産物加工品の販売もされ、農家の人たちの収入源にもなっている。こうした運営方式にいたるまでには、火力発電所の立地をひとつの契機とし、地域活性化のあり方について、市と地元が幾度も話し合いを繰り返したとのこと。市と地元との協働の取り組みのなかで、ふるるファームは誕生し運営されている。

■ 評価と今後の展望

“ふるる”という名前には、「星が降る」、「しあわせが降る」、みかんなどの「フルーツいっぱい(full)」、「ふるさと」……というような意味合いが込められている。ふるるファームは地域の農家たちに支えられて開設4年目を迎え、地域の資源を活かした交流拠点として、新たな雇用の機会を創出するとともに、舞鶴市のPRにも大いに貢献している。

市によれば、ふるるファームへの来訪を手掛かりに定住者の増加と新規就農者の確保にもつなげていければと考えており、農村部の空き家の情報を都市住民に提供する「空き家情報バンク」の取り組みも行っている。

プロジェクト概要	
施設名：あったか、ほっこり農園 舞鶴ふるるファーム（入園料無料 火曜日定休）	販売用、クラインガルテン（全17区画約300m ² /区画、宿泊施設1DK38m ² 、農園70~100m ² 、専用駐車場 敷金/400,000円、共益費/75,600円、年間利用料/海を見渡せるA区域462,000円、その他B区域420,000円）、コテージ（2棟）、日帰り農園（約800m ² 全21区画、約30m ² /区画、年間利用料10,500円）
事業名：舞鶴市農業公園整備事業	整備主体：舞鶴市農林課
所在地：京都府舞鶴市宇瀬崎60	TEL.0773-66-1023 FAX.0773-62-9891
面積：約3.8ha	運営主体：株式会社農業法人ふるる（指定管理者） TEL.0773-68-0233 FAX.0773-68-0700
用地：関西電力からの提供用地	ホームページ：http://www.fururufarm.com/
事業費：約7億円（内電源立地地域対策交付金約5.5億円、新山村振興等農林漁業特別対策事業補助金約0.71億円、市一般財源0.74億円（内辺地債0.72億円））	
施設内容：加工体験手作り工房（154m ² ）、ファーマーズマーケット（190.5m ² ）、農村レストラン（104席 252.33m ² ）、いちごハウス（403.45m ² 、摘み取り体験用、水耕栽培）、野菜畑（550m ² 、摘み取り体験やレストラン利用、マーケットで	